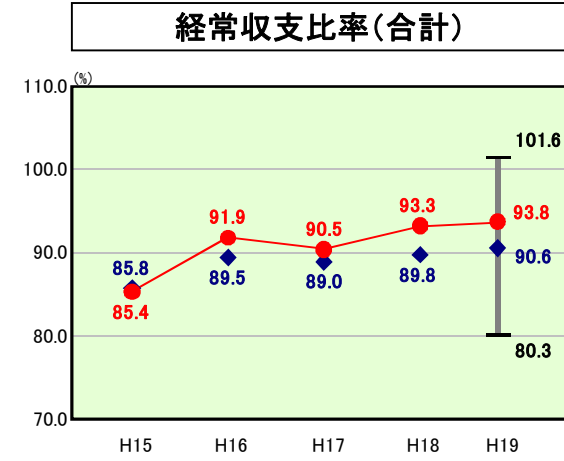


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 南関町

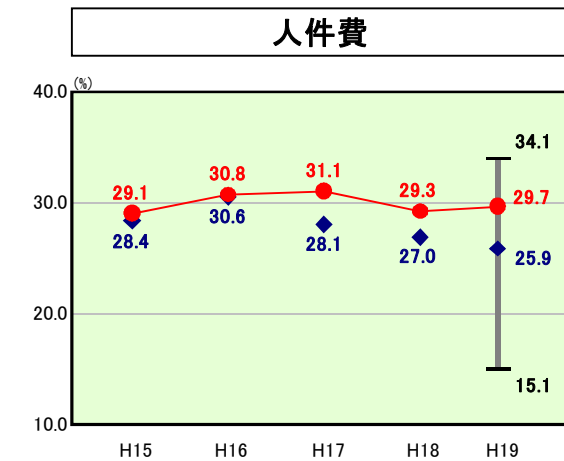
経常収支比率の分析



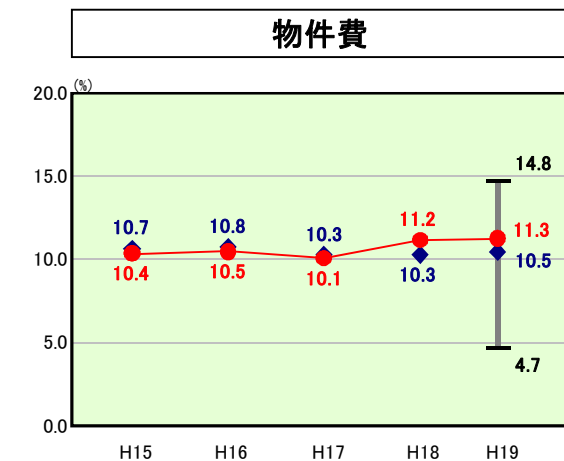
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ⊥
類似団体内最小値 ⊥

人口 11,242人(H20.3.31現在)
面積 68.96km²
歳入総額 5,367,674千円
歳出総額 5,153,159千円

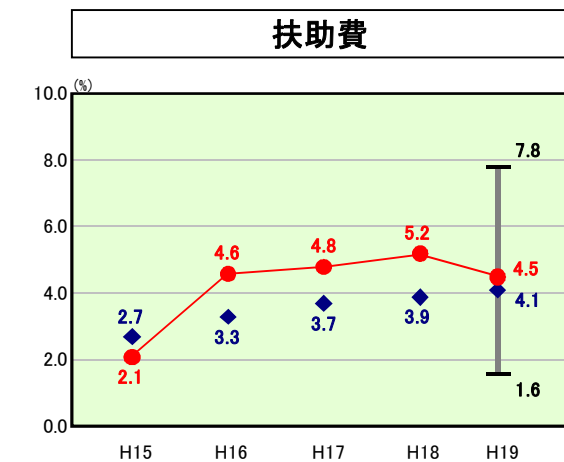
H19類似団体内順位 37/53
全国市町村平均 92.0
熊本県市町村平均 93.3



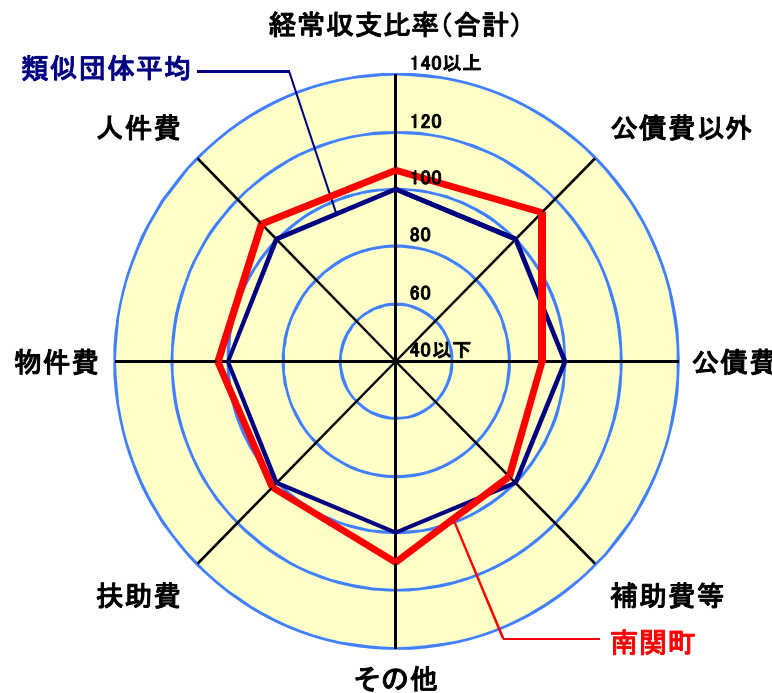
H19類似団体内順位 41/53
全国市町村平均 28.0
熊本県市町村平均 28.1



H19類似団体内順位 35/53
全国市町村平均 13.1
熊本県市町村平均 10.1



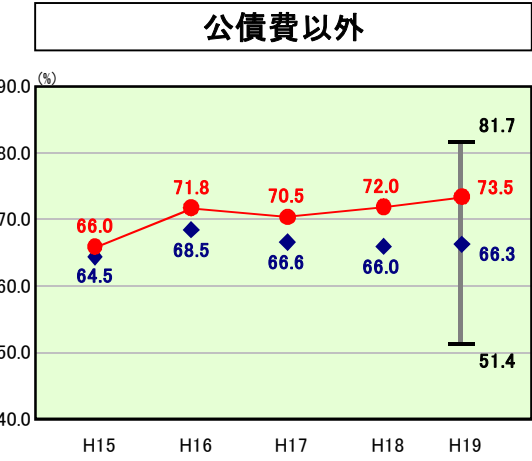
H19類似団体内順位 39/53
全国市町村平均 8.8
熊本県市町村平均 9.4



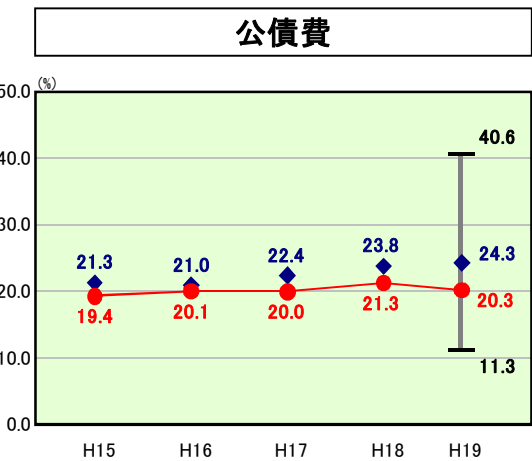
※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

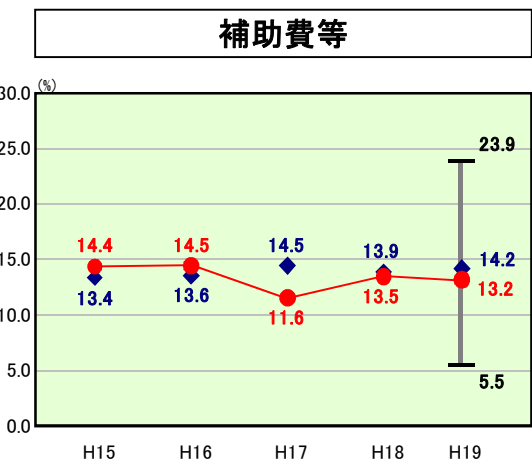
- 人件費
人件費に係るものは、平成19年度において29.7%と類似団体平均値を上回っている。これは、保育所、老人ホームなどの施設運営を直営で行っていることがひとつの要因となっている。現在保育園の民営化を進めるとともに、職員数の削減など行政改革を通じて人件費の削減を推進している。
- 物件費
物件費に係る経常収支比率が類似団体の平均数値を上回っている。物件費の総額は平成17年度に比較して減少しているが交付税等の一般財源が減少しているため上昇傾向となっている。今後は行政改革の取組みのなかで旅費規程、委託料の見直し等を行い物件費の削減を図ることとしている。
- 公債費
平成8~9年度に大型の施設整備事業が集中し、地方債現在高が増加した影響で地方債の元利償還金が膨らんでいるものの、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を4%下回っている。これは、町の計画的な起債発行によるもので、今後も、町の行政改革大綱に沿って普通建設事業を見直し、地方債の発行を抑制し、公債費の削減を図ることとしている。
- その他
その他に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。現在、下水道整備を実施しており、平成14年度に一部供用開始したものの、管渠整備、浄化センター増設等を行っており繰出しが増加傾向にある。今後加入促進を推進し健全財政化を促進していきたい。



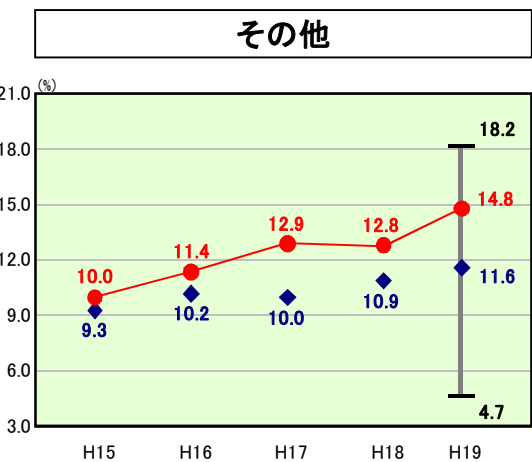
H19類似団体内順位 47/53
全国市町村平均 71.7
熊本県市町村平均 72.3



H19類似団体内順位 10/53
全国市町村平均 20.3
熊本県市町村平均 21.0



H19類似団体内順位 19/53
全国市町村平均 10.4
熊本県市町村平均 11.7

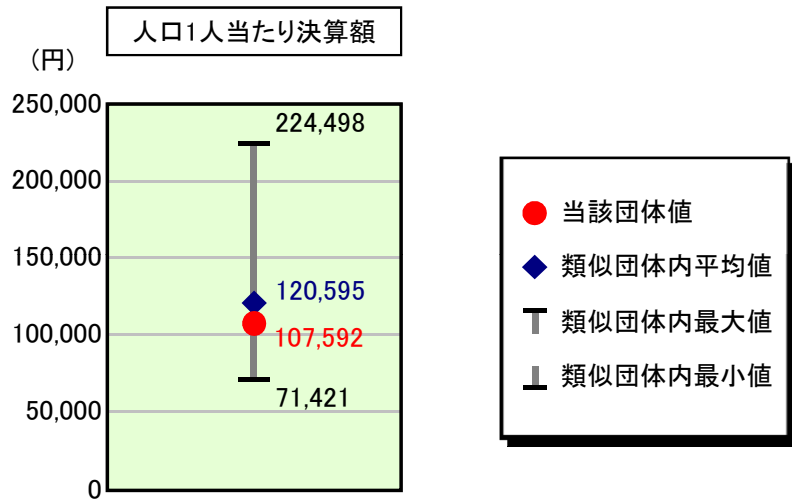


H19類似団体内順位 44/53
全国市町村平均 11.4
熊本県市町村平均 13.0

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 南関町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

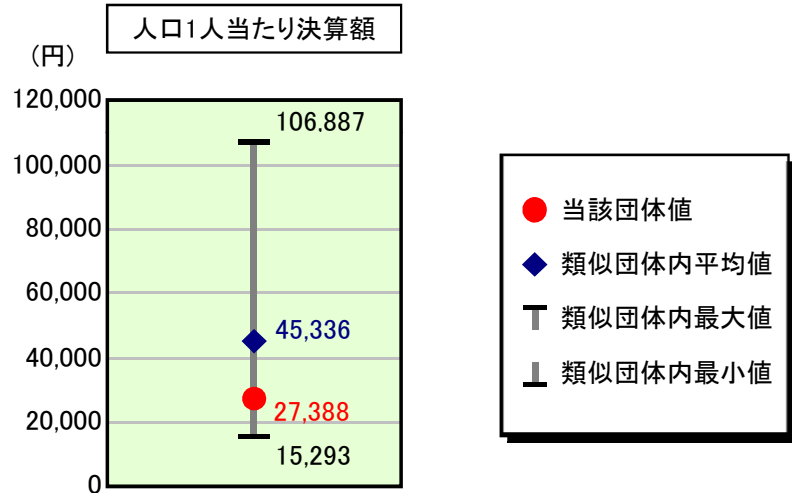
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	1,071,939	95,351	100,282	▲ 4.9
賃金(物件費)	16,515	1,469	6,413	▲ 77.1
一部事務組合負担金(補助費等)	155,611	13,842	17,446	▲ 20.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,038	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	61,402	5,462	4,850	12.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	35,054	3,118	2,073	50.4
▲退職金	▲ 130,967	▲ 11,650	▲ 11,507	1.2
合計	1,209,554	107,592	120,595	▲ 10.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.21	11.20	0.01
ラスパイレス指数	90.9	92.9	▲ 2.0

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

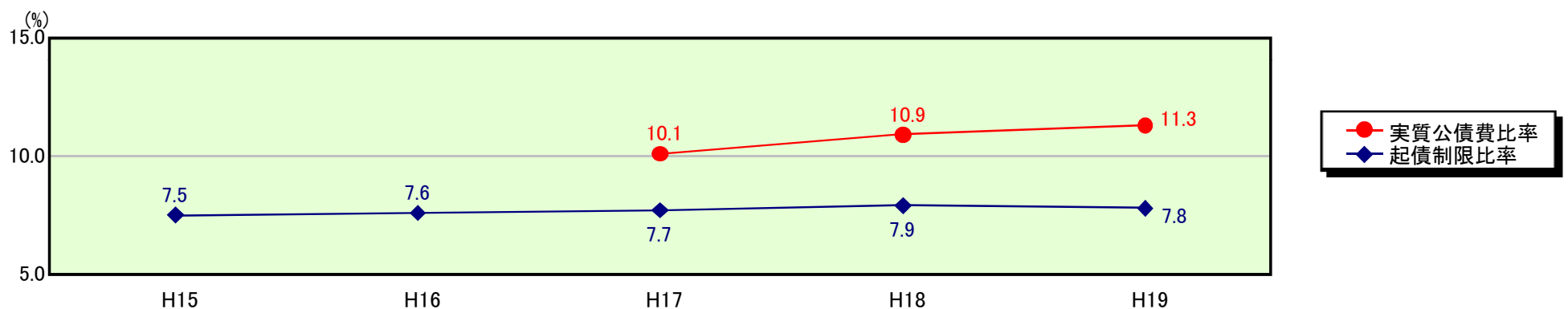


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	638,423	56,789	83,088	▲ 31.7
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	83,569	7,434	15,512	▲ 52.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	56,708	5,044	6,573	▲ 23.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	29,067	2,586	3,396	▲ 23.9
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	24	2	97	▲ 97.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 499,897	▲ 44,467	▲ 63,330	▲ 29.8
合計	307,894	27,388	45,336	▲ 39.6

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

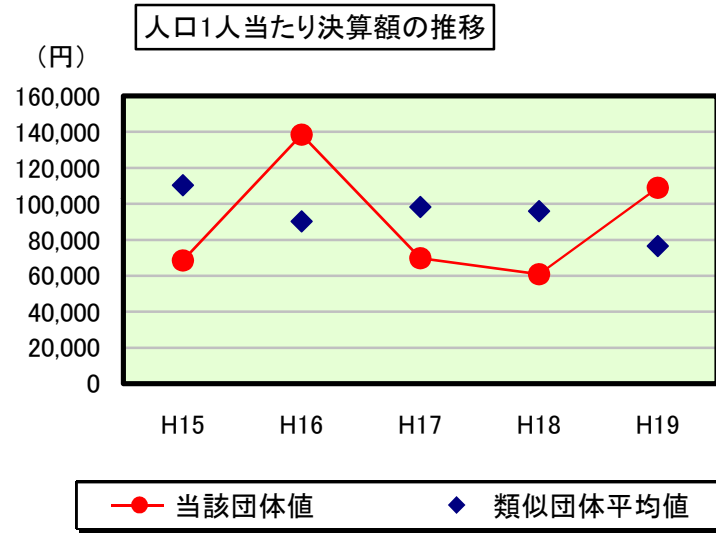
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 南関町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	815,182	68,578	▲ 38.5	110,290	▲ 9.0	▲ 29.5
うち単独分	626,359	52,693	▲ 18.4	62,779	▲ 8.5	▲ 9.9
H16	1,620,997	138,488	101.9	90,219	▲ 18.2	120.1
うち単独分	1,131,023	96,627	83.4	53,069	▲ 15.5	98.9
H17	809,121	69,902	▲ 49.5	98,270	8.9	▲ 58.4
うち単独分	370,796	32,034	▲ 66.8	53,547	0.9	▲ 67.7
H18	695,175	60,964	▲ 12.8	95,963	▲ 2.3	▲ 10.5
うち単独分	473,507	41,525	29.6	51,372	▲ 4.1	33.7
H19	1,225,206	108,985	78.8	76,581	▲ 20.2	99.0
うち単独分	1,075,054	95,628	130.3	43,275	▲ 15.8	146.1
過去5年間平均	1,033,136	89,383	16.0	94,265	▲ 8.2	24.2
うち単独分	735,348	63,701	31.6	52,808	▲ 8.6	40.2